



「何の為に産まれたんだろう」
小さく出来た心の穴を
ずっと見ていた

◎中学校での「ジェリービーンズ」のライブ。「君は一人きりじゃない。何も怖いものなんかない」。歌に込めた思いが、子どもたちの心をつかむ＝滋賀県草津市新堂町、新堂中◎不登校の子と親たちが集まった全国大会にも出演。メンバーは「学校に行けない子がいたら、今の君で大丈夫、自分のペースでいいんだよと言ってあげてほしい」と訴える＝宝塚市梅野町◎自らの体験や活動について語る（右から）史朗さん、雄介さん、八田さん、小橋さん。引きこもりの人たちにも知ってもらおうと、動画のネット配信にも取り組む＝大津市水明1



不登校だっていいんだよ

どんな形でもいいのさ。見た目など気にしないで。今君が生きている現実はこの世界で何よりも素晴らしい。代表曲「果実」を歌う山崎史朗さん(30)。声は優しく、アツペンボのメロディーが前向きな気持ちにさせてくれる。

大津市を拠点とするロックバンド「JERRY BEANS」(ジェリービーンズ)。ボーカルの史朗さんと、双子の兄でドラムの山崎雄介さん(30)、ベースの八田典之さん(31)は、小学高学年から中学まで不登校や引きこもりを経験した。3人が過去を率直に語り、生きる素晴らしさを音楽で伝える「講演ライブ」が教育関係者らの注目を集め、昨年は関西を中心に105カ所で開催された。今年7月には宝塚市で演奏。来月5日には滋賀特別支援学校でもライブを開く。

クラスのいじめを見るのが耐えられな



6. 講演ライブ

「マイベースプロジェクト」の趣旨に賛同し、共演する手話アーティストyokko(ヨッコ)さん。誰もが気兼ねなく、楽しめるライブを目指す＝大阪府泉佐野市市場東1



不登校だった中学時代に、メンバーが書きためた歌詞、ふつけようのなかった心の葛藤がにじむ＝大津市水明1

